

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算      支出科目    款：民生費      項：児童福祉費      目：児童福祉諸費

<b>事業名</b> <b>新</b> 保育人材確保のための保育士試験支援事業費
--

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部    子ども・女性局    子育て支援課    保育支援係

電話番号：058-272-1111 (内 2629)

E-mail：[c11236@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11236@pref.gifu.lg.jp)

1    事業費      3,606 千円 (前年度予算額：0 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附 金	その 他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,606	1,803	0	0	0	0	0	0	1,803
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- 県内の保育士の求人倍率は、平成26年度以降、毎年度上昇しており、保育士不足の状況は悪化している。
- 令和2年4月1日現在、県内の待機児童数は「ゼロ」となっているものの、例年、年度途中の育休復帰等による低年齢児の保育需要を吸収しきれず、待機児童が発生している。
- 保育士の資格を取得するためには保育士養成施設を卒業するか、保育士試験を合格する必要があるが、県の保育士・保育所支援センターでは、保育士養成施設と連携し、学生を対象とした就職意欲を高めるためのセミナー等を開催しているところである。
- 一方、保育士試験の受験者については、県内各地に点在し、受験者の状況も様々であることなどから、就職意欲を高めるための呼びかけが出来ない状況にある。

### (2) 事業内容

- 保育士・保育所支援センターによる資格取得後の就職支援を円滑に行うため、

保育士試験 8 科目のうち、合格率の低い 4 科目に対する直前対策講座を開催するとともに、保育士・保育所支援センターの支援を受けるための登録を促す。

【定員等】 岐阜・西濃(120名)、中濃・東濃(100名)、飛騨(50名)

【対象者】 県内の保育所等で従事する意思のある方で、直後の保育士試験 (R3.10月) (R4.4月) を受験する意思のある方  
<厚生労働省：子ども・子育て支援体制整備総合推進事業(新規卒業者の確保、業継続支援事業)>

### (3) 県負担・補助率の考え方

国 1 / 2 県 1 / 2

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
事業費	3,606	業務委託料
合計	3,606	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

総合戦略 2 健やかで安らかな地域づくり ②子どもを産み育てやすい地域づくり

### (2) 他県の状況

神奈川県、茨城県、横浜市

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
年間を通して待機児童の発生を予防するため、県内の保育所で必要な保育士を確保し、適切な保育サービスが提供できる体制を整備する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
保育士オンライン登録者数	13 (H28)	32 (H29)	397 (H30)	688 (R1)	3,200 (R6)	21.5%
潜在保育士の再就職マッチング数	172 (H26)	420 (H29)	540 (H30)	642 (R1)	1,260 (R6)	50.9%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

### （前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	四半期ごとの待機児童数の合計人数が、平成28年度の142人から令和元年度52人と徐々に減少しているものの、県内の保育関係団体からは、依然として保育士不足の声があがっているため、必要な保育士を確保し、保育サービスの充実を図る必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) —	新規事業のため成果なし。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	資格取得後の保育士・保育所支援センターによる就職支援を前提に行うため、事業の効率性が図られている。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 県内各地に点在する保育士試験受験予定者に対する当該講座への効率的・効果的な参加の呼びかけが課題である。</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 都道府県からの委託により保育士試験を実施している保育士試験センターから、個人情報取り扱いの問題をクリアしたうえで受験予定者の情報を取得し、ピンポイントで参加の呼びかけを行う。</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	保育士・保育所支援センター事業 【子育て支援課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	保育士・保育所支援センターへの登録を促すことで、保育所等との早期マッチングを図る。